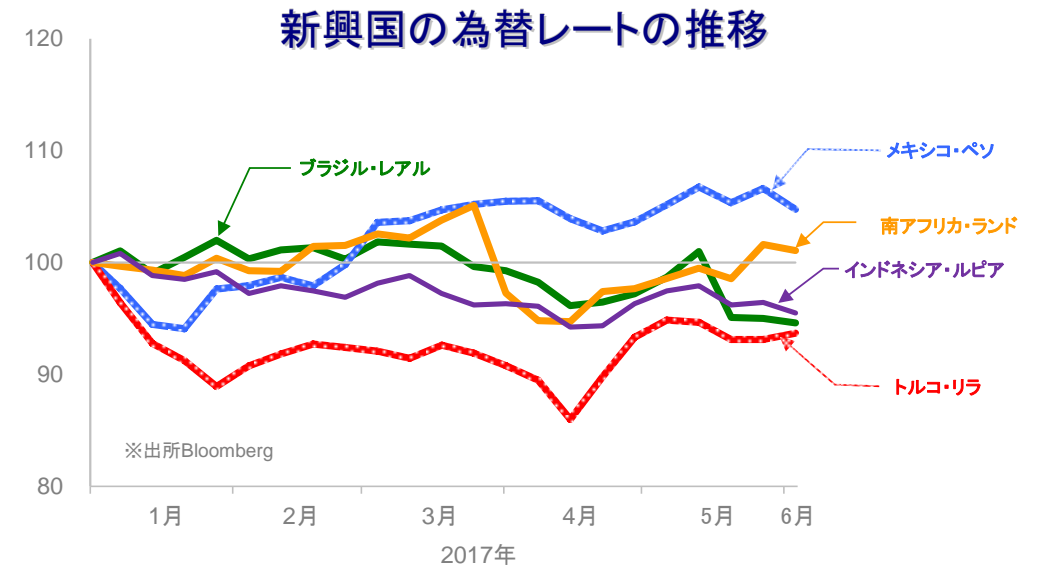
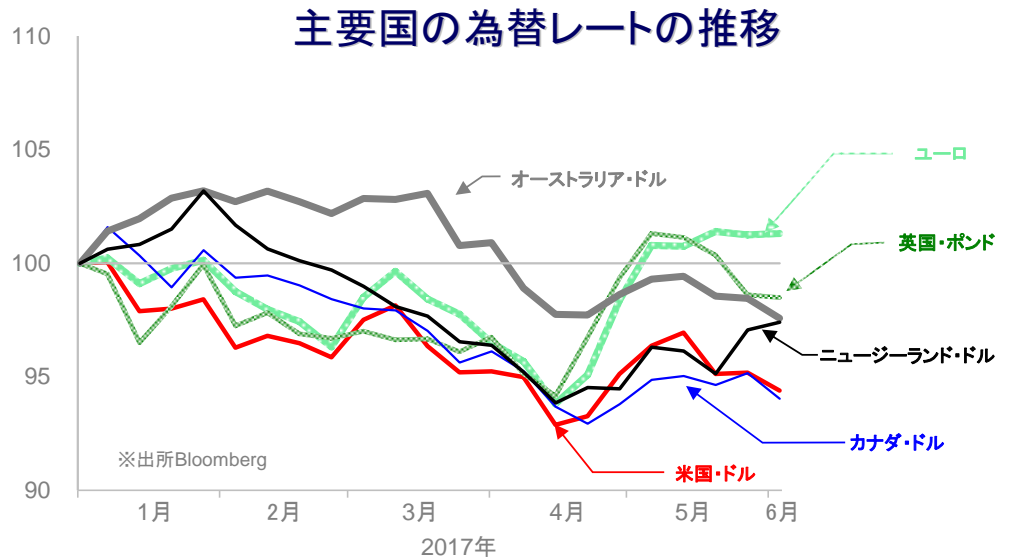


◎おもな出来事

・経済指標：米国では、5月のISM製造業景況感指数が前月とほぼ同水準と製造業活動の着実な拡大が確認された。5月の雇用統計では非農業部門雇用者の前月からの増加数が市場予想を下回り、3月、4月分も下方修正された。ユーロ圏では5月の消費者物価指数(前年比)が前月から鈍化した。日本では、1~3月の法人企業統計によると、全産業の設備投資額(前年比)が2期連続の増加となった。4月の有効求人倍率がバブル期を超える水準に上昇した。中国では5月の製造業PMI(政府調査)が前月と同水準となった一方、同(民間調査)は景況判断の節目とされる50を下回った。ブラジルの1~3月期実質GDP成長率(前期比)は9四半期ぶりにプラスとなった。・中央銀行：ECB総裁は、ユーロ圏景気が加速しているものの安定したインフレ回復には緩和的な金融政策が必要との考えを示した。ブラジルでは6会合連続となる政策金利の引き下げを決定した。・政治：米国大統領は地球温暖化対策の枠組み「パリ協定」からの離脱を表明した。イタリアでは主要政党が上下院の選挙法改革案で大筋合意した。・社会：議会選挙を8日に控えた週末の英国では、首都中心部でテロ事件が発生した。

✓外国為替相場の動き

米国・ドルは週末の雇用統計の内容を受けて将来の利上げペースは緩やかとの見方が広がったことから、日本・円に対して下落
 ○メキシコ・ペソは、原油価格が下げた影響もあり、下落
 ○トルコ・リラは、外国人観光客数の顕著な回復が確認されたことから上昇



✓外国為替市場

	通貨	6月2日	前回基準日	騰落率
		祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載		
主要国	米国・ドル	110.40	111.33	-0.84%
	ユーロ	124.58	124.50	+0.06%
	英国・ポンド	142.32	142.50	-0.13%
	カナダ・ドル	81.82	82.80	-1.19%
	オーストラリア・ドル	82.18	82.91	-0.88%
	ニュージーランド・ドル	78.88	78.60	+0.35%
新興国	ブラジル・レアル	33.996	34.146	-0.44%
	メキシコ・ペソ	5.910	6.014	-1.73%
	トルコ・リラ	31.346	31.157	+0.61%
	南アフリカ・ランド	8.622	8.667	-0.53%
	インドネシア・ルピア※	0.829	0.837	-0.96%
	中国・人民元	16.207	16.228	-0.13%

※100外貨あたりの対円レートを表示

※各為替レートの2016年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

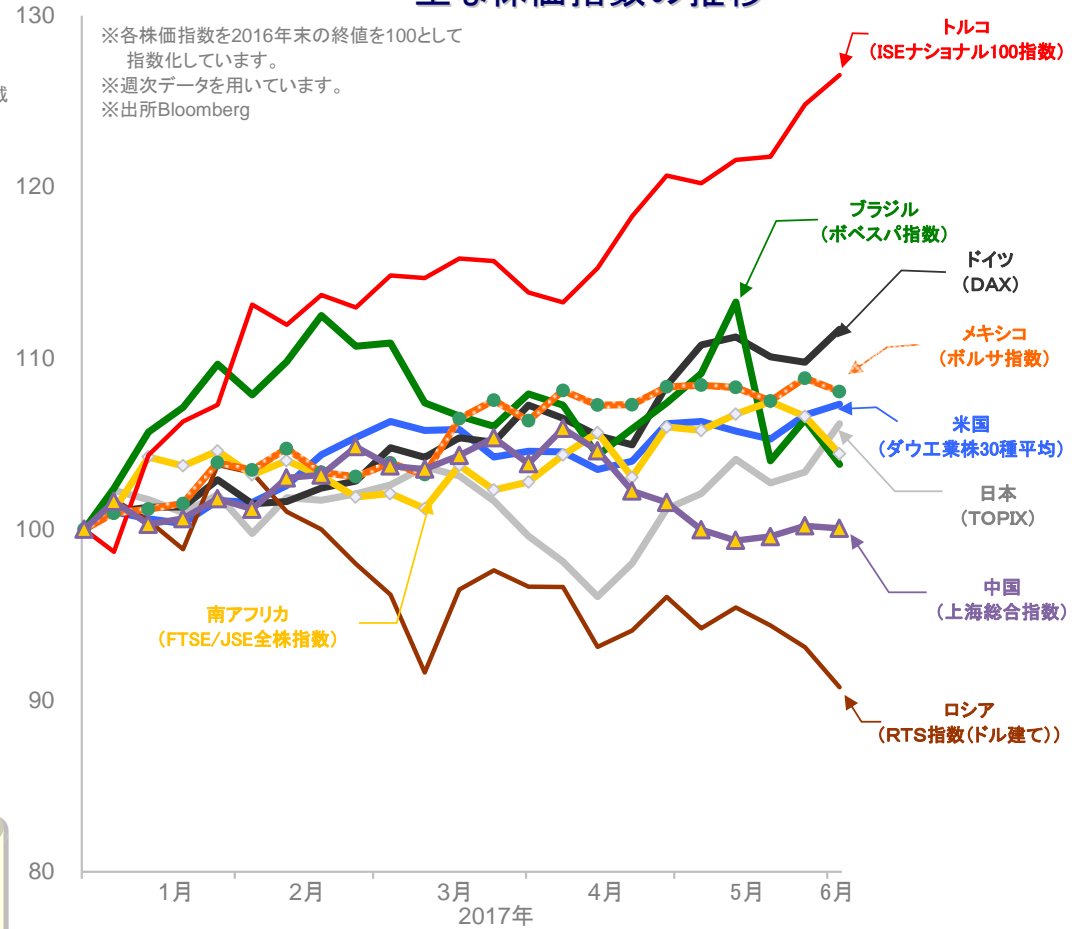
●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

株式市場

国	株価指数	2016年末比	
		騰落率(※)	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日との比較を記載			
日本	日経平均株価	2.49%	5.56%
	東証株価指数(TOPIX)	2.73%	6.16%
	JASDAQ INDEX	1.68%	15.26%
米国	ダウ工業株30種平均	0.60%	7.31%
	S&P500	0.96%	8.94%
北米	ナスダック総合株価指数	1.54%	17.14%
	カナダ S&Pトント総合指数	0.17%	1.01%
主要国	英国 FTSE100	0.00%	5.67%
	ドイツ DAX	1.75%	11.69%
	フランス CAC40	0.13%	9.89%
	イタリア FTSE MIB	-1.33%	8.81%
	オーストラリア S&P/ASX200指数	0.63%	2.16%
	中国 上海総合指数	-0.15%	0.06%
アジア	韓国 韓国総合株価指数	0.70%	17.04%
	香港 ハンセン指数	1.11%	17.83%
	台湾 台湾加権指数	0.50%	9.72%
	インド S&P BSE SENSEX	0.79%	17.45%
	ロシア RTS指数(ドル建て)	-2.52%	-9.23%
新興国	トルコ イスタンブール100種指数	1.37%	26.53%
	ブラジル ボベスバ指数	-2.46%	3.79%
	メキシコ メキシコ指数(IPC)	-0.72%	8.05%
南アフリカ FTSE/JSE 全株指数	-2.05%	4.41%	

※騰落率は前回基準日と今回基準日の各株価指数を比較しています。

主な株価指数の推移



日経平均株価、東証株価指数、JASDAQ INDEX、ダウ工業株30種平均、S&P500及びS&Pトント総合指数及びS&P/ASX200指数、ナスダック指数、FTSE100及びFTSE MIB及びFTSE/JSE 全株指数、DAX、CAC40、上海総合指数、韓国総合株価指数、ハンセン指数、台湾加権指数、S&P BSE SENSEX、RTS指数、ISEナショナル100指数、ボベスバ指数、ボルサ指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ、日本経済新聞社、株式会社東京証券取引所、S&P Dow Jones Indices LLC、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エル シー、The NASDAQ OMX Group, Inc.、FTSE社、ドイツ証券取引所、ユーロネクスト、上海証券取引所、韓国取引所、Hang Seng Indexes Company Limited、台湾証券取引所、ボンベイ証券取引所、ロシア取引システム、イスタンブール証券取引所、サンパウロ証券取引所、メキシコ取引所に帰属します。

マーケットの動き

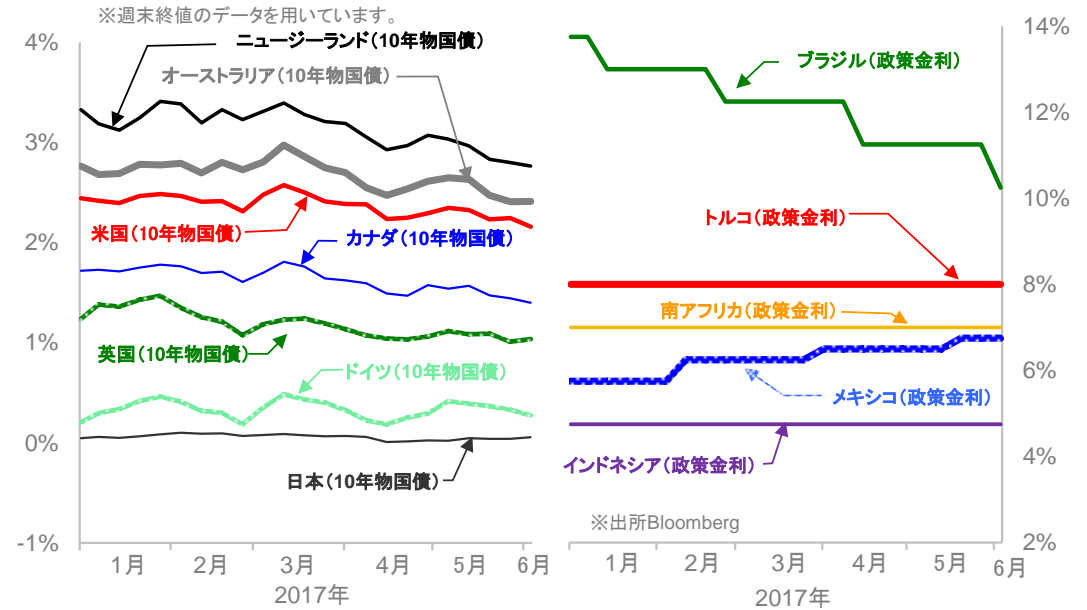
- 主要国の株式相場は、米国における将来の利上げペースは緩やかとの見方を受けて、概ね上昇
 - 日本では、法人企業統計の内容も支援材料となり、上昇
 - イタリアでは、早ければ9月にも総選挙が実施されるとの見方から、政治的な先行き不透明感が広がり下落
 - 中国では、製造業PMI(民間調査)が重しとなり、小幅に下落
 - 原油価格は、主要産油国の減産延長の合意にもかかわらず、世界的な供給過剰は解消されないとの見方が優勢となる中、下落

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

金利

国	6月2日	前回基準日	差
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
主要国			
日本	0.055%	0.042%	+0.013%
米国	2.160%	2.247%	-0.087%
ドイツ	0.274%	0.331%	-0.057%
英国	1.038%	1.012%	+0.026%
カナダ	1.400%	1.445%	-0.045%
オーストラリア	2.412%	2.410%	+0.002%
ニュージーランド	2.767%	2.803%	-0.036%
新興国			
ブラジル	10.25%	11.25%	-1.00%
メキシコ	6.75%	6.75%	±0.00%
トルコ	8.00%	8.00%	±0.00%
南アフリカ	7.00%	7.00%	±0.00%
インドネシア	4.75%	4.75%	±0.00%

主要国および新興国の金利の推移



REIT、商品市況

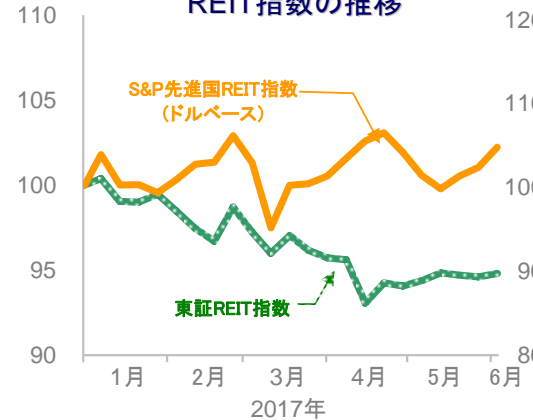
	6月2日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
○ REIT			
東証REIT指数	1759.38	1755.47	+0.22%
S&P先進国REIT指数(ドルベース)	259.97	256.94	+1.18%
○ 商品			
WTI原油先物価格(期近物)	47.66	49.80	-4.30%
トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数	177.96	182.00	-2.22%
ニューヨーク金先物(8月限月)	1280.20	1271.40	+0.69%

※ 東証REIT指数、S&P先進国REIT指数、WTI、トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ株式会社東京証券取引所、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシー、ニューヨーク商業取引所、Thomson Reuters、Jefferies Financial Products,LLCIに帰属します。

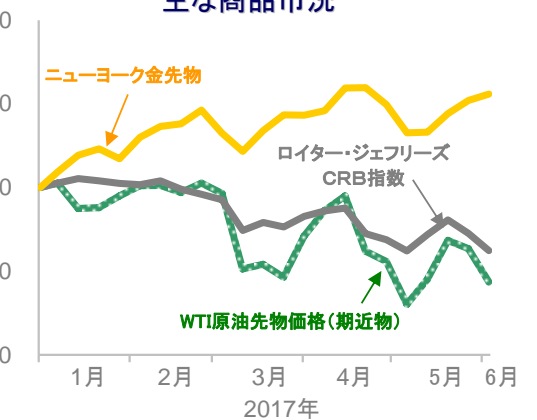
今週の主な予定 (いずれも現地日付、中央銀行は金融政策発表日)

- 政治
 - ・ 8日: 英国総選挙
 - ・ 11日: フランス国民議会選挙(第1回投票)
- 主な経済指標
 - ・ 8日: 5月貿易統計(中国)
- 中央銀行
 - ・ 6日: オーストラリア
 - ・ 8日: ECB

REIT指数の推移



主な商品市況

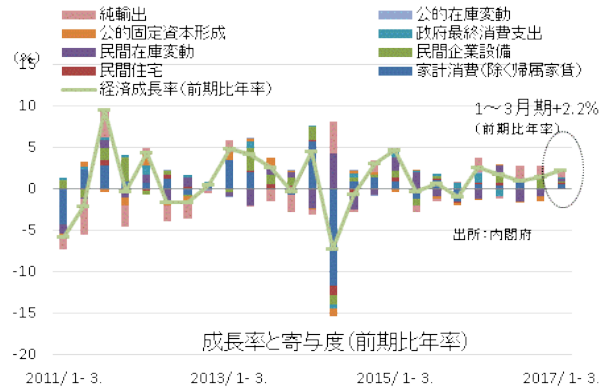


※各指数は、2016年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。※出所Bloomberg

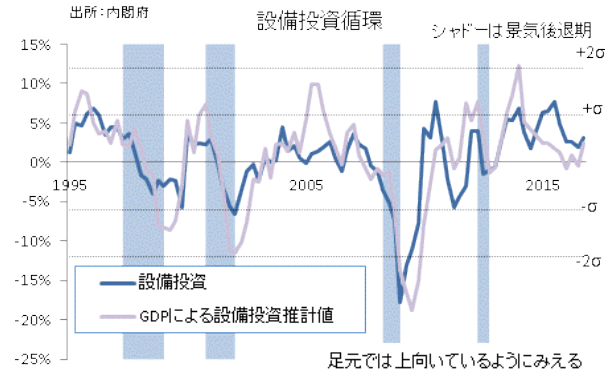
●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

○ 日本経済 ～ GDP成長率と設備投資、賃金、物価

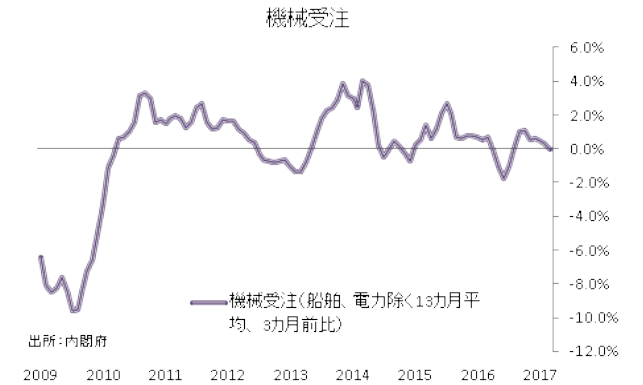
図表1



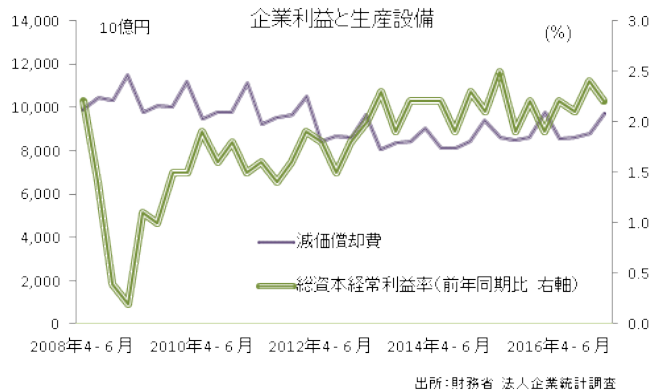
図表2



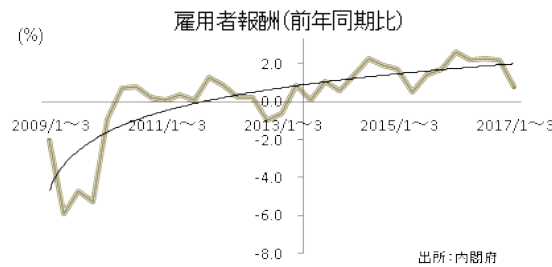
図表3



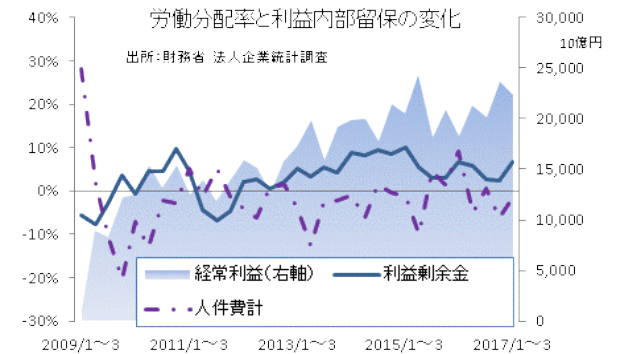
図表4



図表5



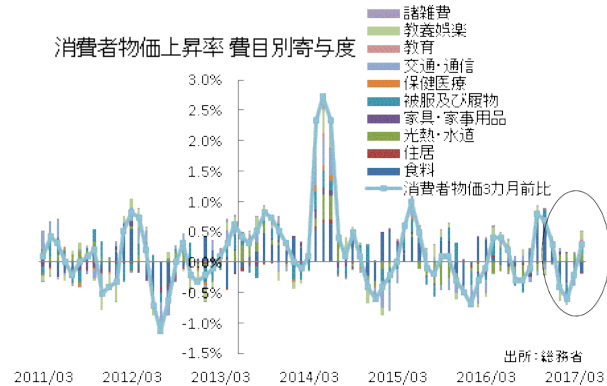
図表6



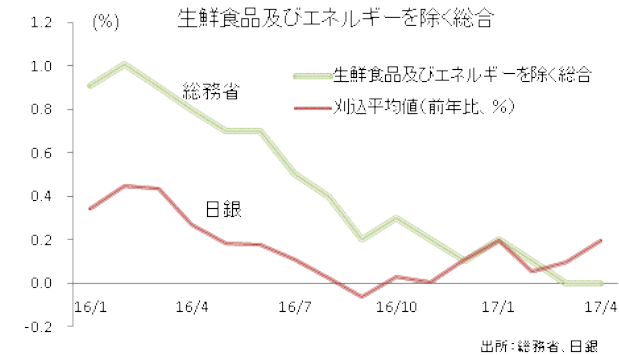
●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

○ 日本経済 ～ GDP成長率と設備投資、賃金、物価

図表7



図表8



○設備投資(図表1~4)

1~3月期のGDP成長率(一次速報)は比較的良好な成長率であったが、民間設備投資は低調であった。GDP統計により求めた設備投資循環では上向きも予想されたが、低調な結果となった。一方、同期間の法人企業統計においては設備投資は好調さがみられた。推計値であった設備投資額が2次速報では法人企業統計を受けて上方修正されることが予想される。ただ、足元では先行指標とされる機械受注が傾向としては鈍化しつつあることに加え、関連性のみられる総資本経常利益(≒事業利益)率が下向き始めていることもあり、今後の設備投資循環は短命に終わることも考えられる。

○賃金(図表5、6)

雇用者報酬は下向き、法人企業統計における人件費も小幅の上向きにとどまっている。企業利益(経常利益)は増加基調であり、労働分配、利益剰余金とも上向いたが、労働者への配分は遅れているように見える。

○物価(図表7、8)

総務省の発表する代表的物価指標である消費者物価総合指数は低水準ながらも小幅上昇が続いている。これは昨年エネルギー価格の下落の影響が剥落していく過程にあるためと考えられる。近年発表が始まった生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数はほぼ横ばいとなり、一方日銀が公表を始めた基調的なインフレ率を捕捉するための指標はじり高となっている。微妙に食い違う結果の示す通り現状の金融政策の出口はまだみえてこないように思われる。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。